

IR情報

ニュース

証券アナリストによる「ディスクロージャー優良企業選定」
小売業部門の『第1位』を受賞



当社は、「証券アナリストによるディスクロージャー2017年度優良企業選定」(主催:公益社団法人日本証券アナリスト協会)において、フェアディスクロージャー、コーポレートガバナンス、IR姿勢などが評価され、小売業部門の第1位に選定されました。引き続き当社に関する重要な情報を正確にわかりやすく、公平かつ適時・適切に開示することにより、経営の透明性を高めるとともに、当社への理解を深めていただくことを目的にIR活動を推進してまいります。

詳細につきましては、日本証券アナリスト協会ウェブサイト内の「ディスクロージャー優良企業選定結果」ページ (<http://www.saa.or.jp/standards/disclosure/selection/index.html>) をご覧ください。

IRサイトのご案内

当社IRサイトでは、マルチサービスリテラー戦略をはじめとする中期経営計画の取り組みのほか、各種開示情報などをご覧いただけます。また決算説明会、株主総会における説明動画の配信も行っています。検索で「JFR IR」と入力しアクセスしてください。



<http://www.j-front-retailing.com/ir/>

IRカレンダー



※ 日程は前後する場合がございます。



くらしの「あたらしい幸せ」を**発明**する。

J. FRONT RETAILING

2017年度 第11期中間

株主通信

J.フロント リテイリング株式会社



将来の見通しに関する注意事項

本誌における記述は、2017年10月17日現在入手可能な情報に基づき作成しています。なお、店舗開業予定など将来に関する記述は、様々な要因の変化により変更される場合があることをご承知おきください。





取締役 兼代表執行役社長

山本 良一

株主の皆様には、日ごろより格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年、J.フロント リテイリングは設立10周年を迎え、百貨店の大丸は創業300周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援の賜物であり、重ねて御礼申し上げます。

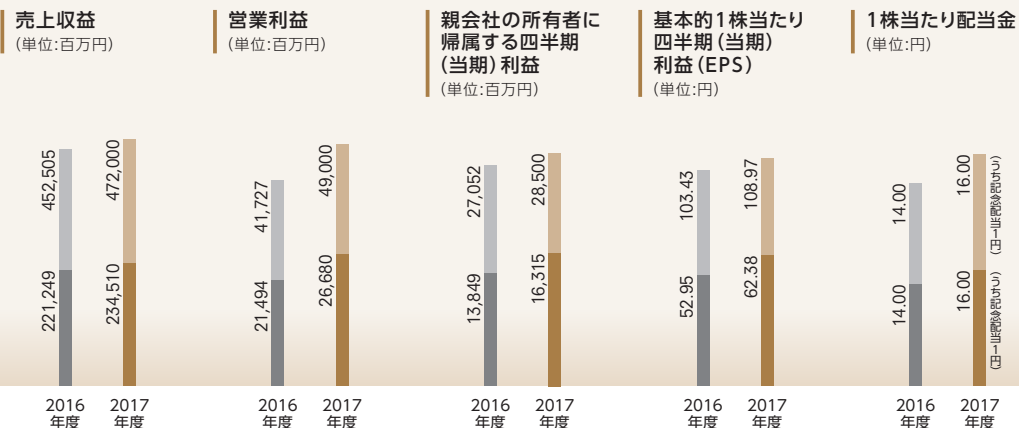
当上半期の連結業績は、不動産事業の大型開発案件として、4月に「GINZA SIX」をオープンさせたことに伴い不動産事業が好調に推移したことに加え、百貨店事業においてはインバウンド消費の回復や富裕層による高額品消費も堅調に推移したことなどから、増収増益を達成することができました。

当社グループは、“くらしの「あたらしい幸せ」を発明する。”というグループビジョンの実現を目指し、小売業の枠を超えた「マルチサービスリテラー」としての発展に向け、既存事業の競争力と収益力の一段の強化をはかるとともに、経営資源の成長分野への重点的な投入を進めてまいります。

株主の皆様には一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016-2017
財務ハイライト
国際会計基準(IFRS)

■ 第2四半期
■ 通期(2017年度は予想)



※ 予想数値は、2018年2月期第2四半期決算発表時点(2017年10月10日)のものです。実際の業績は様々な要因の変化により、予想と異なることがあります。

まさに、今が当社グループの大きな「転換点」。経営自らが変わり、改革を実行。

Q 新グループビジョンを策定しました。その背景について説明してください。

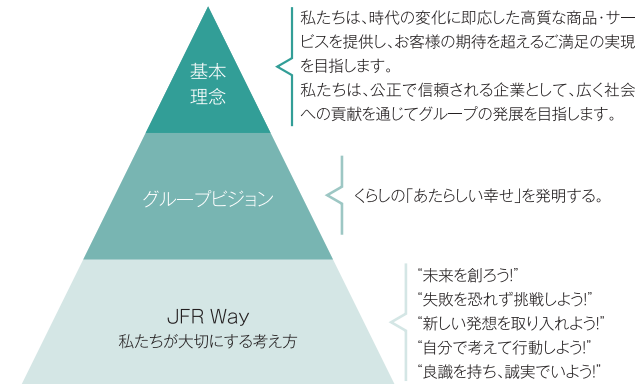
今、消費を取り巻く環境が目まぐるしいスピードで変化し続けています。しかし、当社グループとして、これまでそうした変化への対応が必ずしも機敏かつ十分にできていたとは言い難く、前中期経営計画3年間の成果も決して満足できる水準に至っておりませんでした。現状延長での取り組みでは、いずれ成長に限界が訪れることは避けて通ることができないでしょう。まさに、今が当社グループの大きな「転換点」にあるとの認識を強めています。そのため当社はこれから10年先、20年先の事業環境の変化を予測し、その中で当社がどのような役割を果たし、社会に貢献していけるかを考え、「暮らし方」と「楽しみ方」の両面から新たな価値提供を実現するために、“くらしの「あたらしい幸せ」を発明する。”というグループビジョンを新たに策定しました。

Q 新グループビジョンの実現に向け、どのように取り組んでいくのですか。

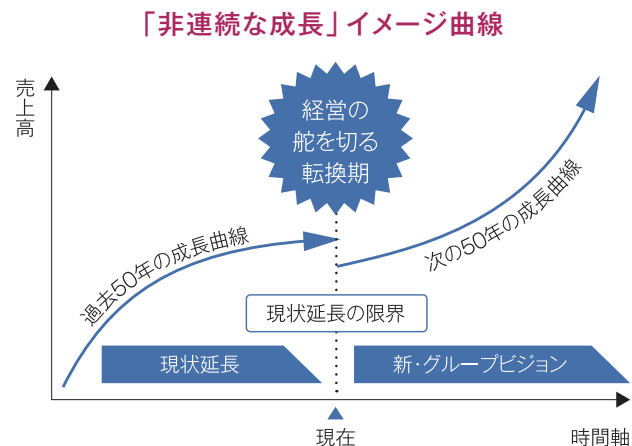
今年度からスタートさせた中期経営計画を出発点として、



基本理念とグループビジョン、JFR Way



過去の延長線上ではない「非連続な成長」へと大きく経営の舵を切り、新たな取り組みを進めています。今中期経営計画では、現在取り組み中の大型再開発プロジェクトが成果として表れる2021年度までの5年間をタームとし、非連続な成長実現に向けた「グループ構造変革期」と位置づけ、これまでの小売事業を中心としたマルチリテイラーから、小売業の枠を超えた新たな領域拡大に踏み込んだ「マルチサービスリテイラー」へと進化をはかることで、事業領域の拡大と事業ポートフォリオの大胆な見直しを実現していきます。具体的には、店舗を核にエリアの魅力を最大化し、地域とともに成長する「アーバンドミナント戦略」の本格化を通じた不動産事業の拡大をはじめ、グループの中核である百貨店事業・パルコ事業の革新や新規事業への参入、ICT戦略推進などの事業強化に取り組んでいきます。加えて、業務オペレーション改革やガバナンス改革などにも取り組めます。



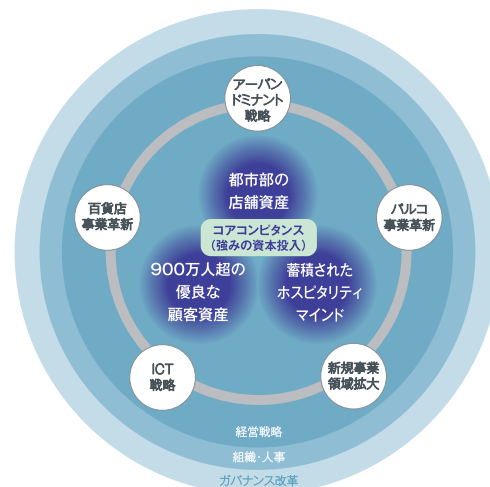
Q 「アーバンドミナント戦略」については、どのように展開していくのですか。

前中期経営計画で着手した銀座、上野、心齋橋、渋谷の4つの大型再開発プロジェクトが今中期経営計画の期間中に順次完成し、街に新たな賑わいをもたらすとともに、収益にも大きく貢献します。

今年4月20日には、松坂屋銀座店跡地を含む街区にGINZA SIXをオープンさせました。世界でも類を見ない革新的なラグジュアリーモールとして、文化施設も融合するなど従来にない新たな商業施設を実現させ、好調な入店客数に支えられ順調なスタートとなりました。

さらに11月4日には、松坂屋上野店南館建替えにより「上野フロンティアタワー」を開業させました。松坂屋上野店、パルコ、TOHOシネマズ、オフィスを一体的に備える複合商業施設と

小売業の枠を超えた “マルチサービスリテイラー”



GINZA SIX



上野フロンティアタワー



大丸心齋橋店 新本館 完成予想図



渋谷パルコ 完成予想図



して、上野御徒町エリアに新たなランドマークが誕生しました。

こうした大型再開発とともに、都市部の好立地に店舗を展開する当社の強みを活かし、大丸心齋橋店、大丸京都店、大丸神戸店などの既存店舗の周辺エリアでも、自社物件の開発や外部物件の貸借・取得を通じた不動産管理床面積の拡大に取り組んでいきます。このように店舗周辺の不動産開発に積極的に取り組むことで、不動産事業を“グループの新たな柱”として成長させ、地域にグループとしてのドミナントを形成する中で賑わいを創出し、その賑わいを再び既存店に還流させることで、既存店自体の成長にも繋げたいと考えています。

Q 大丸心齋橋店本館、渋谷パルコの再開発計画については、どのような考え方で進めていくのですか。

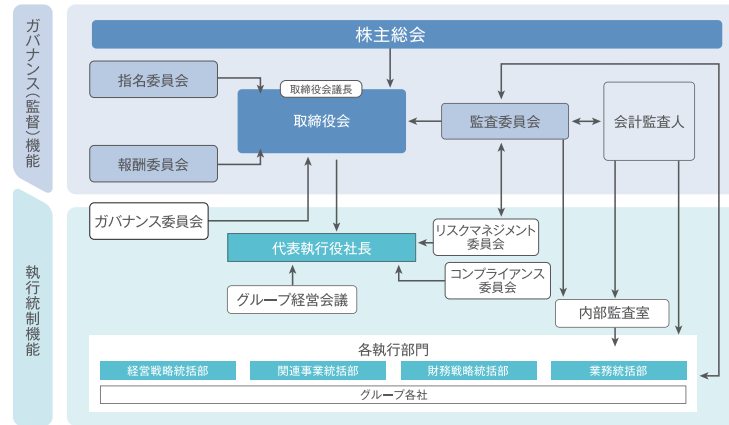
大丸心齋橋店新本館は、2019年秋のオープンを予定しています。新本館では、百貨店の未来の方向性を示すような新たな百貨店ビジネスモデルを構築するとともに、北館は大型核テナントとしてパルコを導入するなど、不動産賃貸モデルに転換します。これにより、これまでにない幅広いお客様にアプローチし、圧倒的な集客力向上と収益力強化をはかります。

同じく2019年秋にオープン予定の新生・渋谷パルコでも、新たな取り組みを結集させた次世代商業空間を創造します。複合型商業施設の強みを活かし、さまざまな企業との接点拡大による事業の展開をはじめ、ICT活用や渋谷区の「エンタテイメント・シティ構想」との連携にも取り組めます。そして、当計画で得られたノウハウを他の都心型店舗に順次波及させ、パルコのストアブランドの進化をはかっていきます。

Q コーポレートガバナンス改革の取り組みを加速させています。狙いは何ですか。

経営を取り巻く環境が激変する中、従来の延長線上には、ステークホルダーの皆様の期待に応えるレベルの持続的成長はなく、「非連続な成長」を目指すうえでは、意思決定のスピードを上げ、計画・実行のサイクルを加速させなければならないと考えています。また、そのためには、あらゆる面でまず経営自らが変わり、プロの経営者として臨んでいく覚悟が必要です。そうした考えのもと、当社は本年5月の定時株主総会決議を経て指名委員会等設置会社に移行しました。これにより監督と執行の分離が一層明確となり監督機能が強化される一方、業務執行の決定については執行役に委任することで迅速な経営の意思決定を行っていきます。また、指名、

コーポレートガバナンス体制図



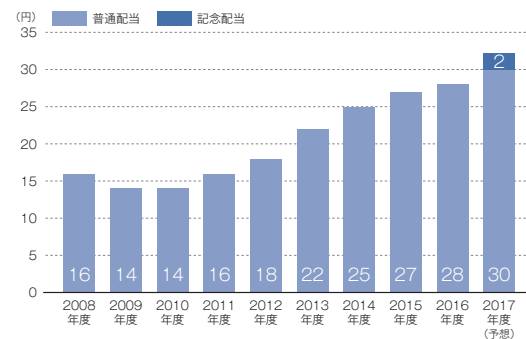
役にとって経営戦略・経営計画を完遂し、目標とする会社業績の達成に向けた動機づけとなる業績連動性の高いものであることなどを考慮し、今般新たに設計しました。

Q 株主還元の方法について、聞かせてください。

株主様への利益還元については、経営の重要課題と捉えています。配当については、持続的な利益成長をはかる中で6年連続の増配をしております。2018年2月期についても増配を予定しています。

基本方針として、健全な財務体質の維持・向上をはかりつつ、利益水準、今後の設備投資、フリーキャッシュ・フローの動向等を勘案し、安定的な配当を心がけて連結配当性向30%以上を目処に適切な利益還元を行いたいと考えています。また資本効率の向上、機動的な資本政策の遂行などを目的とした自己株式の取得についても適宜検討していきます。

1株当たり年間配当推移 (※2)



※2 1株当たり年間配当金は株式併合後換算により記載いたしております。

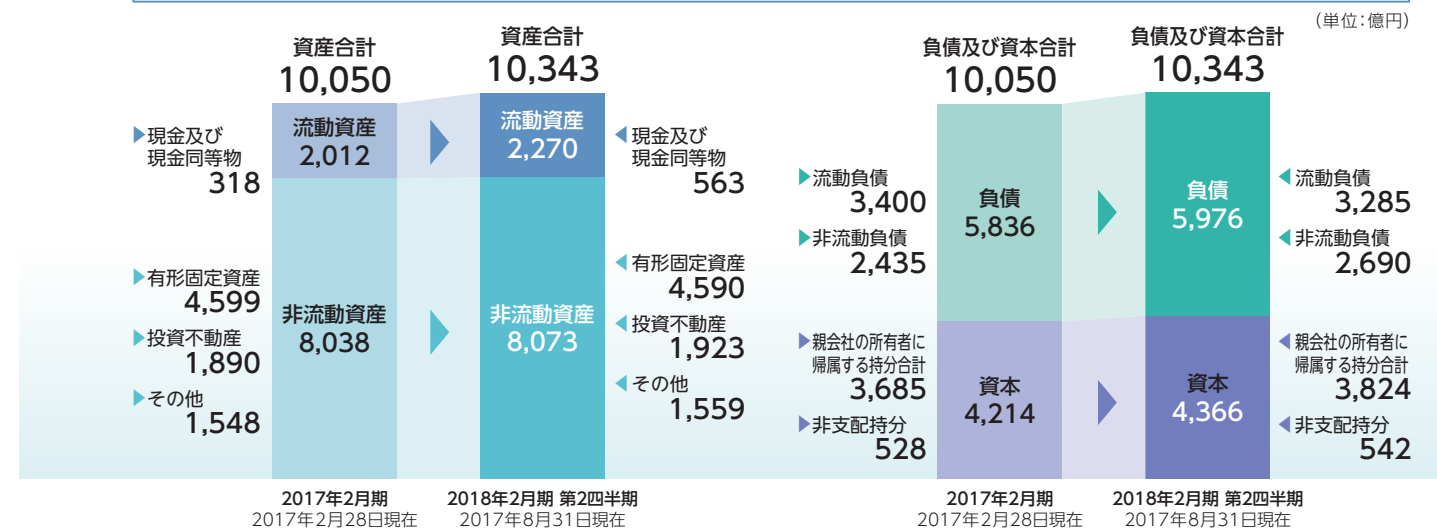
監査、報酬の法定3委員会ができることで、経営人材の評価も社長専権事項ではなく委員会に委ねられることになるほか、監督については独任制監査から組織監査という厳しい枠組みの中で行うこととなります。このように経営の透明性・客観性の向上をはかりつつ、意思決定のスピードを上げていかなければ、変化の激しい時代の中で勝ち残ることはできないと認識しています。

Q 新たな会計基準の適用や業績連動性の高い報酬制度の見直しも行ないましたね。

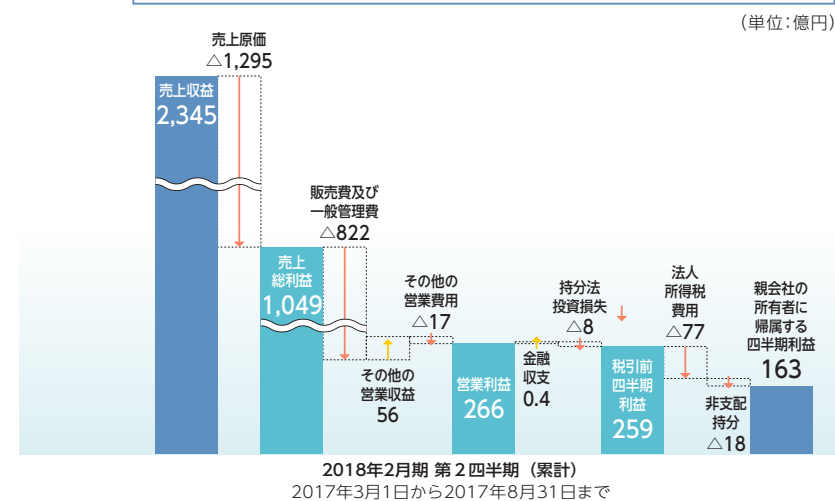
当社が目指すROE8%を実現するためには、会計基準そのものを見直し、公正な資産価値評価に基づいた経営を進めることが必要と考え、IFRS(※1)の任意適用を行いました。また役員報酬制度については、グループの持続的成長と中長期的な企業価値の向上に資するものであることや、執行

※1 IFRS: International Financial Reporting Standardsの略で、「国際財務報告基準」。国際会計基準審議会(IASB)によって設定される会計基準。

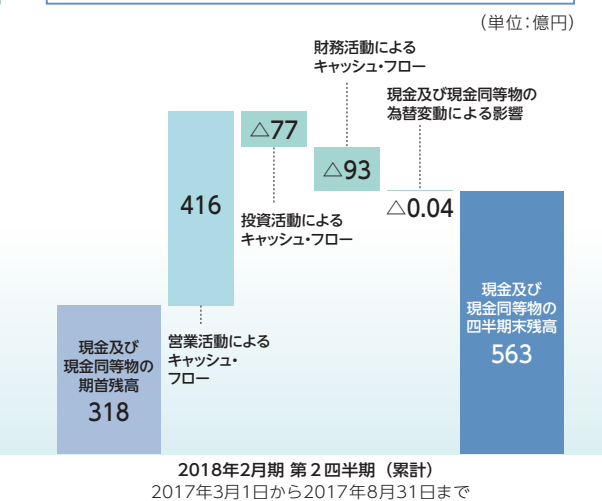
連結財政状態計算書の概要



連結損益計算書の概要



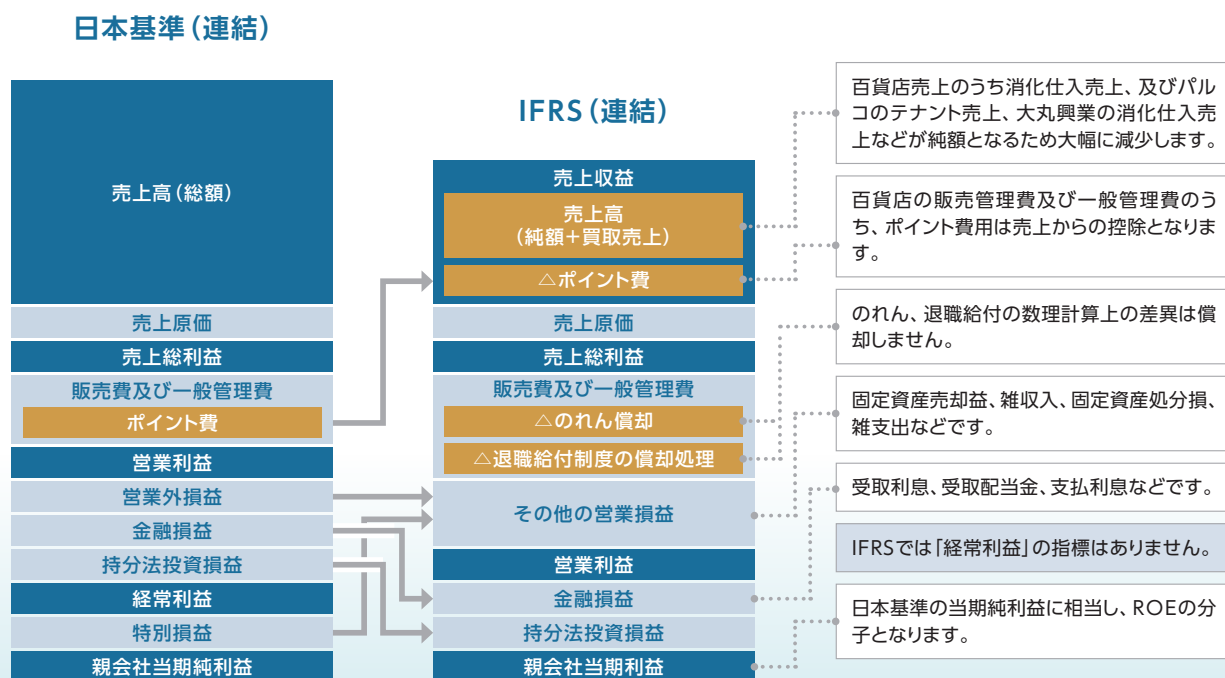
連結キャッシュ・フロー計算書の概要



IFRS (国際会計基準) 適用に伴う主な変更点

当社は、適正な資産評価に基づいた効率経営の実践や、当期利益重視の経営管理、財務情報の国際的な比較可能性向上による国内外の投資家に対するアカウンタビリティ強化を目的として、2017年3月から、国際会計基準(IFRS)を適用することといたしました。2017年度をスタートとする中期経営計画の経営数値目標を含め、今後当社グループが発表する業績予想及び実績数値などにつきましては、IFRSベースで開示いたします。

日本基準とIFRSの比較



参考指標 なお、連結では従来との比較可能性継続の観点から、参考指標として下記を設定します。

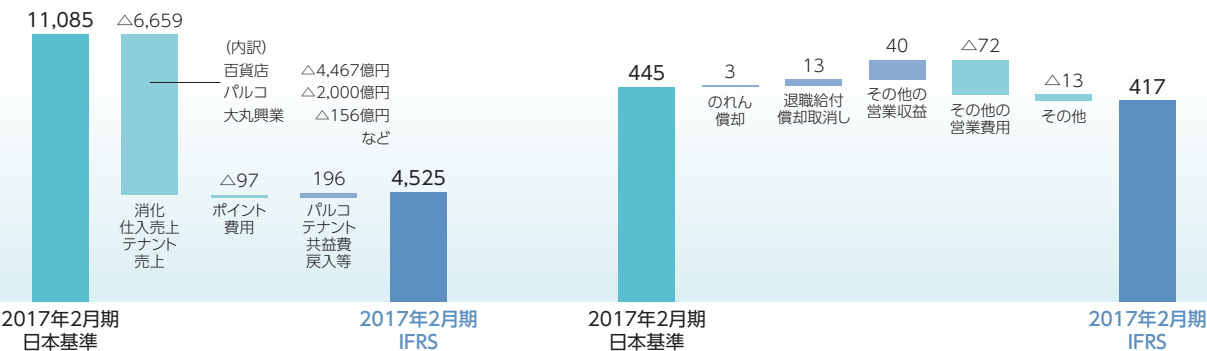
総額売上高 IFRS売上収益のうち、主に百貨店事業の消化仕入取引を総額に、またパルコ事業の純額取引をテナント取扱高(総額ベース)に置き換えて算出します。

事業利益 (IFRS営業利益) - (IFRSその他の営業収益等) + (IFRSその他の営業費用等) で算出します。

連結P/L

- 売上高は消化仕入やテナント売上の純額表示、ポイント費控除により、6割程度減少します。
- 営業利益は営業外損益、特別損益(固定資産処分損など)の組替え等により減少します。

売上高 (売上収益) | 営業利益 (単位: 億円)



連結B/S

- 土地等の資産簿価をIFRS移行時の時価で見直したことにより、資産(土地、借地権他)、資本(利益剰余金)が減少します。また、負債は税効果による影響で減少します。



GINZA SIX

GINZA SIX

日本の良き伝統や歴史を継承しながら世界の最先端を取り込み、商業集積地として日本のシンボルとなっている銀座。2017年4月20日、この銀座のど真ん中にエリア最大級の商業施設面積約47,000㎡を誇る「GINZA SIX」が開業しました。241のブランドを集積する商業エリアに加え、大規模なオフィス、文化・交流施設、観光拠点、屋上庭園などを備えています。

商業施設のコンセプトは、「Life At Its Best ~ 最高に満たされた暮らし ~」。最先端のスタイルと真のラグジュアリー、そしてサービス、環境などすべてが高いレベルで提供されること、GINZA SIXにおけるすべての体験がクリエイティブであり、真に豊かな暮らし、人生を感じることのできる施設であり続けることを目指しています。241ブランドのうち半数以上の121店舗が「旗艦店=フラッグシップショップ」であり、どこよりも早く、どこよりも豊富な商品投入、どこよりも上質なサービスを提供する特別な位置づけの店舗です。また、レディース、メンズをフロアで区切らず、ご夫婦で、ご家族でショッピングを楽しめるような店舗配置を実現しています。

日本全国、また海外からも幅広い年齢層のお客様にご来店いただいております。ショッピングだけでなく、アート鑑賞、屋上庭園の散策、読書、お食事など様々な体験をお楽しみいただいております。



商業施設

2つのテナントを大丸松坂屋百貨店が運営

GINZA SIXで、大丸松坂屋百貨店が運営するテナントが、「SIXIEME GINZA (シジューム ギンザ・2階)」と、「Artglorieux GALLERY OF TOKYO (アールグロリユー ギャラリー オブ トウキョウ・5階)」です。「シジューム ギンザ」は、国内外からセレクトした雑貨をライフスタイルシーンに合わせて展開。レディースライフスタイル雑誌「アールグロリユー ギャラリー オブ トウキョウ」は、国内外の美術愛好家に向けた間に迷い込んだような空間アートをお楽しみいただけるよう、内装を施しています。

観光拠点「観光サービスセンター/観光バス乗降所」1階

銀座エリア全体に貢献する国際的な商業・観光拠点

国内外からのお客様に向け、観光案内や外貨両替、免税、手荷物一時預かり、宅配、こだわりのお土産も扱うコンビニエンスストアなど便利な機能をワンストップで備えた観光サービスセンター「ターミナルギンザ」を設置。カフェも併設し、トラベラー同士のコミュニケーションの場としても機能します。

また、三原通りに面して観光バス乗降所を設置。“銀座の玄関口”となれるような機能を整備することで、銀座エリア全体に貢献する国際的な商業・観光拠点の形成をはかります。



文化・交流施設「観世能楽堂」地下3階

伝統文化の発信拠点、観世流「観世能楽堂」

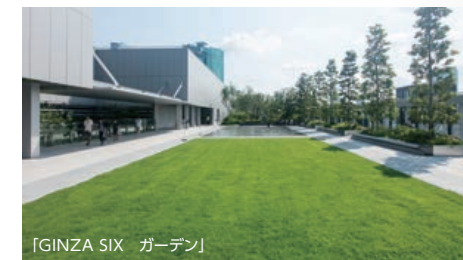
能楽最大流派である観世流の拠点「観世能楽堂」(480席、約1,600㎡)。渋谷区松涛の能楽堂にあった桧舞台をそのまま移築。日本の伝統文化の発信拠点として、国際的な観光地・銀座を盛り上げています。また、地域に開かれた多目的ホールとしてさまざまなイベントも実施するほか、災害発生時には帰宅困難者の一時滞在スペースとしても活用します。



屋上庭園「GINZA SIX ガーデン」(屋上)

銀座最大、地域に開かれた屋上庭園

都会の中で自然を身近に感じられる環境をシンボリックに表現した庭園は、銀座地区最大の約4,000㎡。銀座を訪れる人々にとって憩いや交流の場を提供します。



上野御徒町エリアに新しい価値と
魅力を加えるランドマーク誕生

上野フロンティアタワー

「松坂屋上野店南館建替計画(上野御徒町プロジェクト)」が、「上野フロンティアタワー」として開業。11月4日、地下1階から地上10階の商業施設部分がオープンいたしました。地下1階は松坂屋上野店、地上1階から6階はパルコ、7階から10階はTOHOシネマズが入居する複合商業施設です。高層部の12階から22階は賃貸オフィスとなります。2014年に改装、グランドオープンした松坂屋上野店本館と連動した店舗ラインナップで、ご家族や友人同士など幅広い世代が一緒に楽しむことができる施設を目指します。



松坂屋上野店婦人靴売場・新編集売場(地下1階)

観光案内所機能を持つ「上野が、すき。ステーション」を開設。



フロアコンセプトは、「上野を中心としたエリアの街歩きを楽しむ女性のためのフロア」。街歩きを楽しむアイテム・婦人靴約60ブランドを取り揃え、フロア中央には新たな編集売場「上野が、すき。ステーション」を開設しました。ステーション内の「上野案内所」では、上野エリアの情報や魅力を発信するとともに、周辺の有名店・老舗の商品やコラボレーション商品を販売。コミュニ

ティスペースも併設し、ワークショップや各種講座の開催のほか、体験型イベントなどを実施します。また、地下1階は本館地下1階と接続され、本館との移動のしやすさを確保。また3階・6階には連絡通路(*)を設置し、本館との移動もスムーズです。

(※)6階の連絡通路は本館7階に接続しています。

PARCO_ya(1階~6階)

ちょっと上の、おとなの、パルコ。「PARCO_ya」

ストアコンセプトは「ともだちを誘いたくなる、ちょっとおしゃれなおとなのたまり場」。68店舗のうち52店舗が上野御徒町エリア初登場店舗、また11店舗が地元企業(台東、文京、千代田)というラインナップです。

ビル全体を運営するこれまでの「PARCO」とは異なり、複合ビルへの出店であることをわかりやすくお伝えするため、「PARCO_ya」という新しい屋号での出店です。英文字表記「ya」は、「yet another=もうひとつの」の略、また日本語の「や」は、花火やお祭りの際の威勢のいい掛け声

「○○ヤ〜!」という意味や、日本の老舗をイメージさせる「○○屋」などを表しています。



TOHOシネマズ(7階~10階)

優れた音響品質と立地を いかした上映ラインナップ

8つのスクリーン、約1,400の座席を備え、全スクリーンに優れた音響品質を有するシネマコンプレックスです。ハリウッドや日本の代表作品に加え、秋葉原から徒歩圏内という立地をいかし、アニメファンからも支持される上映ラインナップを提供します。



上野御徒町エリアにおけるアーバンドミナント戦略

街の賑わいを創出、地域とともに成長を目指す

J.フロントリテイリングは、店舗を核にエリアの魅力を最大化し、地域とともに成長する「アーバンドミナント戦略」を推進しています。松坂屋上野店の周辺では、自社の不動産物件を活用し、「アートのスポーツ ODBOX本店」(松坂屋パークプレイス24)、「モンベル御徒町店」(コムテラス御徒町)などの店舗誘致を進めてきました。またJR御徒町駅南口正面にある「おかちまちパンダ広場」では、各種イベントを開催し、地域の皆様とともに街の賑わい創出に取り組んでいます。



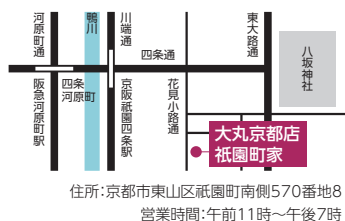
大丸札幌店 5階・時計売場リニューアルオープン

8月30日、時計売場が面積を約1.5倍に拡大し、リニューアルオープンいたしました。「ウブロ」など新たに7つのブランドをラインアップに加え、取扱いブランド数は26ブランドに。道内の百貨店では大丸札幌店のみの展開となる「ロレックスサービスカウンター(オーバーホール対応)」や、「セイコー」「シチズン」「カシオ」のプレミアムコンセプトショップも新たに加わりました。



大丸京都店 祇園町家に「ウブロブティック京都」がオープン

大丸創業300周年記念企画の一環として、江戸時代中期から続く建築様式で建てられた町家を長期間借り上げ改修。この「大丸京都店 祇園町家」に、8月26日<ウブロブティック京都>がオープンいたしました。店内にはウブロの代表的なコレクションを中心に、直営ウブロブティックならではの豊富なラインアップに加え、新作シリーズをはじめとした「ウブロブティック限定モデル」や世界各国の限定モデルを集めた「ウブロ ワールドリミテッド コレクション」をご覧いただくことができます。



大丸神戸店 メンズフロア グランドオープン

10月7日、6階・5階メンズフロアが20年ぶりに改装グランドオープンしました。高感度な雑貨ゾーンを再構築するとともに、新たにセレクトショップを導入。6階フロア中央には、「神戸を愛する『Mr.M』が、地元神戸につくった秘密基地」をコンセプトとした編集売場「M BASE」を展開しています。地域団体とのコラボイベントの開催や情報発信に加え、売場内のカフェバーでは、コーヒーだけでなくアイリッシュビールやクラフトビールもお楽しみいただけます。「訪れるたびに、いつも新しいモノ・コトが発見できる」新たなゾーンの誕生です。



株主様ご優待制度

株主様ご優待制度のご案内

当社は、毎年2月末日現在で100株以上ご所有の株主の皆様に対し、(株)大丸松坂屋百貨店および関係百貨店(全国18店舗)でご利用いただける「大丸・松坂屋 お買い物ご優待カード」および(株)パルコの各店でご利用いただける「パルコお買い物ご優待券」を5月中に発行いたします。



毎年8月31日現在の新規株主の皆様には、11月中に発行いたします。(有効期限は翌年5月31日まで)

優待 1 **大丸・松坂屋でのお買物が本カードのご利用で、
10%OFF!**

- 一部割引対象外の商品がございます。
- ご所有株式数と継続保有期間に応じて、年間ご利用限度額が設定されています。
- 有効期間は、新カードお届け日から翌年5月31日までです。

優待 2 **有料文化催事へ、
無料入場!**

大丸・松坂屋 および パルコ各店(札幌・池袋・名古屋ほか)で開催する有料文化催事へ、本カードのご提示により、ご持参人およびご同伴者1名様に限り、無料でご入場いただけます。

- 一部の有料文化催事ではご優待の対象外となる場合があります。

ご利用上のご注意

- 1 本カードは、お買い上げ時に売場係員にご提出いただきますと、(株)大丸松坂屋百貨店および関係百貨店における税込値札価格でのお買物に限り、各株主様のご利用限度額の範囲内でその10%を割引いたします。
- 2 本カードは、ご名義人様のほか、ご名義人様のご家族様がご利用いただけます。法人株主様の場合は、代表者様の他、当該法人の役員様様がご利用いただけます。
- 3 本カードは、他人に譲渡、売買、貸与(ただし、上記2の場合を除く)等をされた場合は無効といたします。本カードは紛失されても再発行いたしません。また、他のご名義への分割書換発行はできませんので、なにとぞご了承くださいませ。

優待 3 **パルコでの現金によるお買物が、
「パルコお買い物ご優待券」のご利用で税込2,000円ごとに
100円OFF!**

- 一部割引対象外の商品がございます。
- パルコの店頭でご利用いただけるご優待券40枚綴りを発行いたします。
- 8月31日現在の新規株主様のみを対象に発行する「パルコお買い物ご優待券」は、20枚綴りとなります。
- 有効期間は、ご優待券お届け日から翌年5月31日までです。

お知らせ

2018年1月15日以降、当社株主様ご優待制度のお取り扱い要領について以下の事項を追加いたします。

日本国内非居住者である訪日外国人旅行者等を対象とする消費税免税を受けるお買物には「J.フロント リテイリング株主様 大丸・松坂屋お買い物ご優待カード」をご利用いただけません。

- カードのご名義人様はご利用いただけます。
- (株)パルコが同社株主様を対象に発行する「大丸松坂屋お買い物ご優待券」をご利用のお買物につきましても同様のお取り扱いといたします。

大丸・松坂屋・パルコ各店の主な有料文化催事

「大丸・松坂屋 お買い物ご優待カード」のご提示により、ご持参人およびご同伴者1名様に限り、大丸・松坂屋、パルコ(札幌、池袋、名古屋ほか)の有料文化催事へ無料でご入場いただけます。

今後の展覧会スケジュール

2017年 11月 ビートたけしが描いたアートが100点！
アートたけし展 1
(松坂屋名古屋店南館7階松坂屋美術館)
9月30日㊥～11月18日㊥

再興第102回 院展
(松坂屋名古屋店南館7階松坂屋美術館・
南館8階マツザカヤホール)
11月25日㊥～12月3日㊥

12月 **創画会70周年記念展 4**
(松坂屋名古屋店南館7階松坂屋美術館)
12月6日㊥～12月17日㊥

Roots of Kawaii 内藤ルネ展
～たくさんの愛と夢をこめて～ 2
(松坂屋静岡店本館8階大催事場)
11月14日㊥～11月27日㊥

けものフレンズ 吉崎観音コンセプト
デザイン展 3
(名古屋パルコ南館8F特設会場)
11月17日㊥～11月27日㊥

ミュシャ展 ～運命の女たち～ 5
(松坂屋名古屋店南館7階松坂屋美術館)
12月23日㊥～2月18日㊥



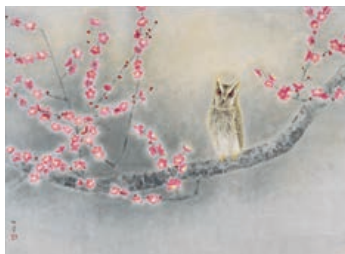
1 ©OFFICE KITANO INC.



2 ©R.S.H/RUNE



3 ©けものフレンズプロジェクト



4 上村松篁《春宵》

2018年

1月 **Roots of Kawaii 内藤ルネ展**
～たくさんの愛と夢をこめて～ 2
(大丸梅田店15階大丸ミュージアム)
1月10日㊥～1月21日㊥

2月 **第62回現代書道二十人展**
(松坂屋名古屋店南館7階松坂屋美術館)
2月24日㊥～3月4日㊥

5 ポスター《黄道十二宮》
1896年 リトグラフ



6 奥谷 博《Peace》2017年
photo:橋タケミアートフォース



3月 **文化庁新進芸術家海外研修制度**
50周年記念展—美術部門—
「洋画」「日本画」「版画」 6
(松坂屋名古屋店南館7階松坂屋美術館)
3月10日㊥～4月8日㊥

4月 **第73回春の院展**
(松坂屋名古屋店南館7階松坂屋美術館)
4月14日㊥～4月22日㊥

追悼水木しげる ゲゲゲの人生展 7
(松坂屋名古屋店南館7階松坂屋美術館)
4月28日㊥～6月10日㊥

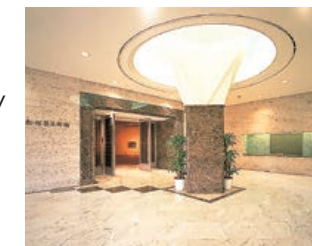


7 水木しげるとその作品たち(1) 2010年頃
©水木プロダクション

ホームページのご案内

大丸ミュージアム <http://www.daimaru.co.jp/museum/>
松坂屋美術館 <http://www.matsuzakaya.co.jp/nagoya/museum/>
パルコミュージアム <http://www.parco-art.com/>
その他イベントは開催各店のホームページをご覧ください。

※上記はいずれも予定です。展覧会名称・会期・会場などは変更する場合がございます。
※上記以外の有料文化催事ではご優待の対象外となる場合があります。



松坂屋美術館
松坂屋名古屋店南館7階



パルコミュージアム
(池袋パルコ本館7階)



関西



1 大丸心齋橋店
〒542-8501 大阪市中央区心齋橋筋1-7-1
☎ (06) 6271-1231



2 大丸梅田店
〒530-8202 大阪市北区梅田3-1-1
☎ (06) 6343-1231

北海道



9 大丸札幌店
〒060-0005 札幌市中央区北5条西4-7
☎ (011) 828-1111

関東



14 大丸東京店
〒100-6701 東京都千代田区丸の内1-9-1
☎ (03) 3212-8011



15 松坂屋上野店
〒110-8503 東京都台東区上野3-29-5
☎ (03) 3832-1111



19 GINZA SIX



3 大丸京都店
〒600-8511 京都市下京区四条通高倉西入立売西町79
☎ (075) 211-8111



4 大丸神戸店
〒650-0037 神戸市中央区明石町40
☎ (078) 331-8121



5 松坂屋高槻店
〒569-8522 大阪府高槻市紺屋町2-1
☎ (072) 682-1111



6 大丸山科店
〒607-8080 京都市山科区竹鼻竹ノ街道町91
☎ (075) 255-7365



7 大丸須磨店
〒654-0154 神戸市須磨区中落合2-2-4
☎ (078) 791-3111



8 大丸芦屋店
〒659-0093 兵庫県芦屋市船戸町1-31
☎ (0797) 34-2111

中国・四国・九州



10 博多大丸福岡天神店



11 下関大丸



12 高知大丸



13 鳥取大丸



中部



16 松坂屋名古屋店
〒460-8430 名古屋市中区栄3-16-1
☎ (052) 251-1111



17 松坂屋豊田店
〒471-8560 愛知県豊田市西町6-85-1
☎ (0565) 37-1111



18 松坂屋静岡店
〒420-8560 静岡市葵区御幸町10-2
☎ (054) 254-1111



1 池袋PARCO



2 名古屋PARCO



3 福岡PARCO

- 4 渋谷PARCO*
- 5 札幌PARCO
- 6 仙台PARCO
- 7 静岡PARCO
- 8 広島PARCO

- 9 PARCO_ya
- 10 宇都宮PARCO
- 11 浦和PARCO
- 12 津田沼PARCO
- 13 新所沢PARCO

- 14 ひばりが丘PARCO
- 15 吉祥寺PARCO
- 16 調布PARCO
- 17 松本PARCO
- 18 熊本PARCO

- 19 渋谷ZERO GATE
- 20 心齋橋ZERO GATE
- 21 道頓堀ZERO GATE
- 22 広島ZERO GATE
- 23 名古屋ZERO GATE
- 24 札幌ZERO GATE
- 25 広島ZERO GATE 2
- 26 京都ZERO GATE
2017年開業予定
- 27 三宮ZERO GATE (仮称)
2018年秋開業予定
- 28 原宿ZERO GATE
2018年春開業予定
- 29 Pedi 汐留

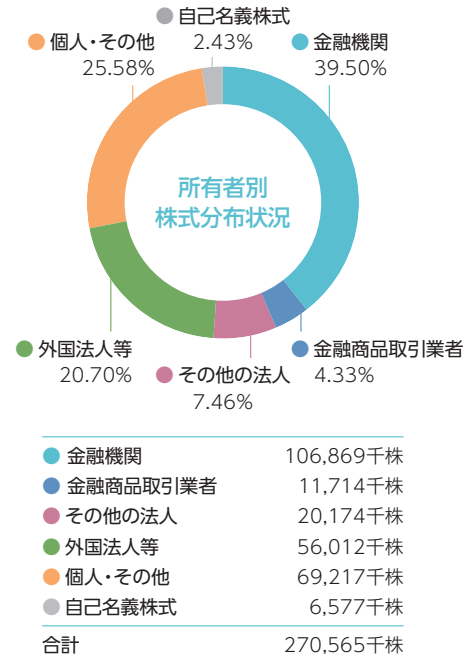
*建替えのため一時休業

株式の状況 (2017年8月31日現在)

発行可能株式総数 1,000,000,000株
 発行済株式の総数 270,565,764株
 株主数 94,354名

大株主	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
1 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	18,727	7.09
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,059	5.32
3 日本生命保険相互会社	7,862	2.97
4 J. フロント リテイリング共栄持株会	6,396	2.42
5 第一生命保険株式会社	5,732	2.17
6 株式会社三菱東京UFJ銀行	5,624	2.13
7 資産管理サービス信託銀行株式会社(投信受入担保口)	4,744	1.79
8 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,737	1.79
9 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	4,613	1.74
10 JPモルガン証券株式会社	3,784	1.43

(注)持株比率は、自己株式(6,577千株)を控除して計算しております。



株主メモ

剰余金の配当の基準日 期末2月末日 中間8月31日

定時株主総会の基準日 2月末日

定時株主総会 5月中旬に開催

公告方法 電子公告をもって行います。ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
 (登記ホームページ <http://www.j-front-retailing.com/>)

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
 電話:(0120)232-711(通話料無料)
 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

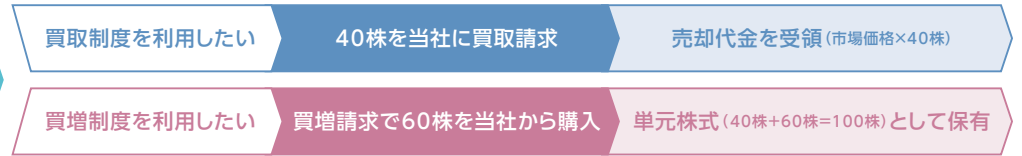
株式に関する手続き

単元(100株)未満株式 買取・買増制度のご案内

当社の単元株式は100株となっており、1~99株の単元未満株式につきましては、株式市場での売買ができない、株主総会で議決権を行使できない、株主様ご優待の適用対象外となるなど、さまざまな制約がございます。このようなご不便を解消するために、単元未満株式を当社が買い取る制度、および株主様が当社に対して買い増しを請求できる制度を実施しております。

買取・買増制度のあらまし

事例 単元未満株式 40株の株主様

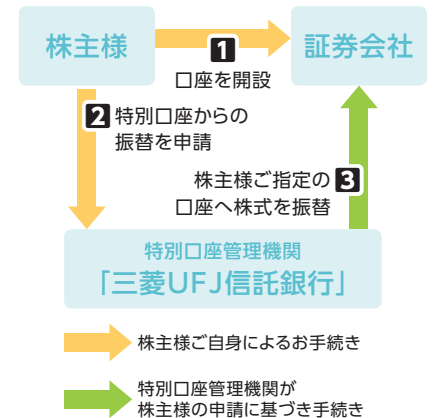


特別口座から証券会社口座への振替手続きのご案内

当社株主様のご所有株式の内、株券としてお手許に保有されたまま、平成21年1月5日のいわゆる「株券の電子化」に関する法律^(※1)の施行までに証券会社に預託されず、その後も証券会社口座への振替手続きをされていない株式については、「特別口座^(※2)」に登録されております。「特別口座」に登録されている株式は、そのままでは売却することができません。株式の売却、その他保有株式の管理やお手続きを便利に行えるよう、証券会社に口座を開設していただき、特別口座から証券会社口座へお振り替えされることをお勧めいたします。

(※1) 「株式等の取引に係る決済の合理化を図るための社債等の振替に関する法律等の一部を改正する法律」(平成16年法律第88号)

(※2) 当社株式の特別口座管理機関は「三菱UFJ信託銀行」です。



ご所有株式に関する手続きについてのお問合せ先

- 「証券会社等の口座」で管理されている当社株式に関する
 配当金振込指定、単元未満株式買取・買増請求、住所変更等
 → お取引口座を開設されている証券会社
- 「特別口座」で管理されている当社株式に関する
 配当金振込指定、単元未満株式買取・買増請求、住所変更等
 → 三菱UFJ信託銀行証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1 / 電話:(0120)232-711(通話料無料)
 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 未受領の配当金に関するお手続き
 → 三菱UFJ信託銀行証券代行部

J.フロント リテイリングは、CSR活動を「国際標準規格ISO26000」に則った7つの課題に分類し取り組みを進めています。CSRの取り組みを強化することにより、株主様をはじめとする様々なステークホルダーへの説明責任を果たすとともに、信頼関係の構築に繋がげながら、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に取り組んでいきます。

次世代育成

東日本大震災・熊本地震復興支援活動

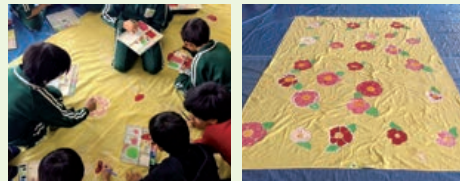
大丸松坂屋百貨店では、2017年3月、「さくらパンダ誕生10周年記念チャリティピンバッジ」を大丸・松坂屋の各店で販売し、販売収益金の一部を東日本大震災被災地3県(宮城・岩手・福島)のこども育英基金に寄付しました。また、大丸秋の三百周年祭において販売した「さくらパンダ誕生10周年記念チャリティピンバッジ」の販売収益金の一部については、平成28年熊本地震復興支援として熊本県への寄付を予定しています。



「むすびの旗プロジェクト」

2014年夏、松坂屋上野店と東京藝術大学は、「東日本大震災からの復興を応援しつつ両地域を盛り上げていこう」と共同事業「むすびの旗プロジェクト」を始めました。

「むすびの旗プロジェクト」は、東北と上野の絆を深めることを目的に、岩手県大船渡市の保育園・小学校と東京都台東区立谷中小学校を藝大の学生と関係者が撮影したビデオレターで交流を深めながら、ワークショップ形式で一つの旗を作り上げていくという取り組みです。完成した旗は、上野店の「東北応援キャンペーン」会場で毎年お披露目しており、これまでに3種の旗が完成しています。次世代育成支援の活動として継続することにより地域社会との信頼関係を構築し、さらに深めてまいります。



女性の健康支援

乳がん・子宮頸がん 予防啓発活動

乳がんの早期発見・治療を促す「ピンクリボン運動」や、子宮頸がんの予防を啓発する「LOVE49(ラブ子宮)プロジェクト」に継続的に協賛しています。オリジナル啓発冊子の作成・配布のほか、イベント開催、店頭募金やオリジナルバッジの販売などを行い、その収益金の一部を支援団体に寄付しています。



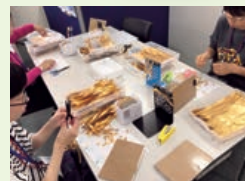
医療機関の監修のもと作成したオリジナル啓発冊子

障がい者雇用

(株)JFRクリエが「大阪府障がい者サポートカンパニー優良企業」に登録

「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく特例子会社としての認定を取得した「株式会社JFRクリエ」が、9月29日、大阪府より「大阪府障がい者サポートカンパニー優良企業登録」を受けました。

これは、同社が本年6月の事業開始にあたり、障がい者の雇用機会創出に貢献していることが認められたものです。同社では大丸・松坂屋で贈答品に使用するリボン作成などグループ各社の事務処理業務を受託しています。



リボン作成

会社概要

商号	J.フロント リテイリング株式会社	設立	2007年(平成19年)9月3日
(英文表示)	J.FRONT RETAILING Co.,Ltd.	資本金	31,974,406,200円
事業内容	百貨店業等の事業を行う子会社及びグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務	決算期	2月末日
本店所在地	東京都中央区銀座六丁目10番1号	従業員数(連結)	6,839名(2017年8月31日現在)

役員

取締役		指名委員会	監査委員会	報酬委員会	執行役	
小林泰行	取締役会議長	○		○	山本良一	代表執行役社長*
土井全一			◎		好本達也	代表執行役常務* 兼(株)大丸松坂屋百貨店代表取締役社長
堤 啓之			○		牧山浩三	執行役常務* 兼(株)パルコ取締役兼代表執行役社長
橘・フクシマ・咲江	独立社外取締役	◎		○	藤野晴由	執行役常務* 経営戦略統括部長兼リスク管理担当
太田義勝	独立社外取締役	○		◎	若林勇人	執行役常務* 財務戦略統括部長兼資金・財務政策担当
鶴田六郎	独立社外取締役	○	○	○	有澤 久	執行役常務 関連事業統括部長
石井康雄	独立社外取締役		○		村田荘一	執行役常務 業務統括部長兼コンプライアンス担当
西川晃一郎	独立社外取締役		○		牧田隆行	執行役 取締役会室長兼経営戦略統括部コーポレートガバナンス推進部長
山本良一	代表執行役社長	○		○	今津貴博	執行役 経営戦略統括部経営企画部長
好本達也	代表執行役常務				中山高史	執行役 経営戦略統括部グループデジタル戦略部長兼あたらしい幸せ発明部長
牧山浩三	執行役常務				岩田義美	執行役 財務戦略統括部部長主計・経営助成担当
藤野晴由	執行役常務				忠津剛光	執行役 業務統括部グループ人事部長兼グループ人事・人材育成・採用担当
若林勇人	執行役常務					

◎は委員長

*は取締役を兼務